

本日は2009年度「教職員新学年度礼拝」をこのガウチャー記念礼拝堂で開催出来ますことを嬉しく思います。そして、このように法人及び各部から教職員の方々のご出席くださいましたことを感謝申し上げます。

説教をしてくださいました伊藤悟大学宗教主任、司式者の嶋田順好学院宗教部長、また奏楽者のご奉仕に深く感謝いたします。

ただ今の「ヨハネによる福音書」の御言葉、伊藤先生の説教を共に聴きつつ、思いを一つに、祈りを一つに、使命を一つにして、この「新学年度礼拝」から、青山学院の2009年度の歩みを始めたいと思います。

青山学院の各部の入学式は、明日の幼稚園の他は、初等部から大学・大学院まで既に行われましたが、いずれの入学式においても、新入生の期待に溢れた輝く瞳と保護者の皆様の喜びに満ちておりました。そして、それぞれ無事に、また、ご家族を含め多くの方々に祝福されて終ることが出来ましたことに感謝したいと思います。

さて、皆様もご存知のように、青山学院の「アカデミック・グランドデザイン」に基づいて、昨年度より高等部校舎建て替え工事が始まり、大学の新校舎建築計画が着々と進んでおります。これらの工事計画が無事に進みますように神の導きを祈るとともに、各部のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

本学は、「青山学院教育方針」に謳われているように、「神の前に真実に生き 真理を謙虚に追求し 愛と奉仕の精神をもって すべての人と社会とに対する責任を 進んで果たす人間の形成」を目指しています。高度な学問的知識を習得させることだけでなく、広い視野をもった豊かな人間性としっかりとした倫理観とを身につけて、「地の塩、世の光」として人と社会とに仕える人間を育成することが、主なる神様から青山学院に委託された使命であります。

青山学院を取り巻く教育環境は内外ともに誠に厳しいものがありますが、ここに導かれた園児・児童・生徒・学生・院生のために、私たちはより充実した教育の場を形成するために、それぞれの立場が違っていても、努力していく1年間の新たな歩みでありたいと心から願っております。

新任の皆様には、一日も早くお仕事に慣れ、青山学院の目指しているものをよく理解して、青山学院の充実・発展のための新しい力となってくださいますよう、また、先輩の教職員の方々も、お一人お一人が、青山学院の建学の精神に立ち、キリスト教全人教育を、これまでと同様にしっかりと続けて行けるよう、皆様のご協力、ご指導をいただけますよう改めてお願い申し上げます。

結びになりますが、青山学院での皆様のお働きの上に神様の豊かな祝福と導きがありますようお祈りいたしまして、ご挨拶といたします。